

高すぎる国保税

質問＝兆円の国費投入を国に要望しないか
答弁＝町村長として国に対し意見を述べたい



のようと考えるか。

池田町長

このまま税率が上がり続けても大丈夫とは全く思っていない。

今後も加入者に負担をかけないよう、保健事業の推進や収納対策にもしっかりと取り組み、国からの様々な支援策を積極的に取り入れながら、安定的な財政運営に取り組んでいく。

山崎 きよ 議員

町は平成29年度は基金の枯渇を理由に国保税を引き上げ、平成30年度は県への財政移管による効果もあって税率を引き下げた。ところが平成31年度、県への納付金が4700万円近い増額になつてている。町としては住民の負担軽減へ、基金を使つて引き上げをしない方向であるが、いつまでもこの方法は続かない。

今後も医療費が上がり続けなければ納付金も上がることが予想できる。そうなればまた税率アップが持ち上がる。これ以上、住民に負担を強いることについて、どう言う。

池田町長

「協会けんぽ並みに1兆円を」というところで私も町村長として全国知事会と同様に機会があれば意見を言う。

山崎議員

県・国に対して「全国知事会のように1兆円規模で国費を入れることを再度、強く申し入れることが必要ではないか。

安倍首相が集団的自衛権の行使容認を閣議決定し、安保法制＝戦争法を强行採決したこと、自衛隊の任務は急激に専守防衛の範囲を超えた。このままいけばアメリカの戦争に日本が巻き込まれる可能性が高まる。

土居総務課長

自衛隊員は、災害時の救報の提供について、広報や

町内の若者の名簿を自衛隊に提供することは許されるのか

山崎議員

安倍首相が「(自衛隊の)

新規隊員募集に対しても都道府県の6割以上が協力を拒否しているという悲しい実態がある。この状況を変えようではないか。憲法にしっかりと自衛隊を明記して違憲論争に終止符を打とうではないか」と述べた。

土居総務課長

平成30年度は平成13年4月2日～平成14年4月1日

生まれの195人の情報を提供了。

提供

に関しては、自衛隊法第97条及び自衛隊法施行令第120条に基づき、町の個人情報保護条例の法令などの規定に基づいて提供している。また過去には国の「違法ではない」旨の見解も示されている。

山崎議員

本人又は保護者からのお望に名簿を出さないことができるなら、町民に知らせるべきでないか。

援活動で国民の命と安全を守るために頑張っている。だからこそ、そんな若者の命が軽んじられることが許せない。

このような中で、町内の若者の個人情報を渡しているのか。

ホームページを通じて、住民へ周知をしていきたい。その際には情報提供しないでほしいといった意思表示ができるようにしたい。

＝その他質問＝

・子どもも高齢者も集まる公園の整備

- ・高齢者の免許返納対策
- ・学校給食センター化に当たり、地産地消の推進を

